

オランダ
早川 敦

ライデンでは皆が冬のコートを着て歩いております。日本でもそろそろ紅葉の季節かと存じますが、理事長先生におかれましてはますます御清栄のことと御推察申し上げます。

十月十四日に口頭試問及び修了証授与式が行われ、無事卒業致しました。一時間近くの口頭試問で、修士論文について突っ込んだ議論を交わしましたが、結局、修論の中で私の理論は全体的には正しいものの、尚若干の修正が必要であるということで合意致しました。

ライデンに参りましてから三年になりますが、微力ながらここまで来られたのは理事長先生はじめ皆様方の御支援の賜と存じます。深く御礼を申し上げます。

目下のところ、修士論文の第二版にとりかかつておりますが、これはできれば発表できる形にまとめたいと存じます。それがすみますと次は、新しい研究テーマについてすでにボーデヴィッツ教授と議論をはじめておりますので、そちらの方にとりかかりたいと存じます。

一月中旬に一旦帰国致しますのでその際には御挨拶に御伺い致したいと存じます。

まずは右まで。末筆ながら理事長先生の一層の御活躍をお祈り申し上げます。

一九九四年十月十九日

